

瀬田唐橋の主な戦い

● 壬申の乱 672年

大友皇子と大海人皇子の最後の決戦場。

大友皇子方が橋板をはずして大海人皇子方を待ち受けたが、突破されて滅んだ。

[天智天皇が大津宮で崩御（671年12月）してわずか半年余りの後、大和と近江を主戦場とした壬申の乱が起こった。その結果、近江朝廷の大友皇子が敗れ、大海人皇子が勝利したため、宮都が再び飛鳥の地へ戻ることとなり、大津宮はわずか5年余りで廃都となる。]

● 藤原仲麻呂の乱（恵美押勝の乱） 764年

考謙上皇・道鏡と対立した大師（太政大臣）藤原仲麻呂（藤原恵美押勝）が軍事力をもって政権を奪取しようとして失敗した事件。

[宇治から近江を取ろうとした恵美押勝（藤原仲麻呂）に対して、考謙上皇方は田原道（関津遺跡）を通過して瀬田唐橋に先回りして焼く。押勝は高島郡に走り滅びる。]

● 倭藤太『藤原秀郷』百足退治 918年

龍神一族の娘に頼まれ、三上山を7巻き半する大百足を退治した。

● 寿永の戦い 1183年～1184年

源範頼・源義経と源義仲（木曾義仲）の戦い

● 承久の乱 1221年

後鳥羽上皇の京軍（山田次郎重忠が率いる比叡山の僧兵300騎）と北条義時の弟・時房率いる鎌倉幕府軍が瀬田川を挟んで交戦。

● 建武の戦い 1336年

足利直義の率いる北朝軍と南朝軍が瀬田川を挟んで交戦。

● 本能寺の変 1582年

信長が本能寺で明智光秀に倒されると山岡景隆は光秀が安土を攻めようとしたため、唐橋と瀬田城を焼いて阻止した。